

特別号 響の杜

もう一つの響魂祭

新年あけましておめでとうございませう。

皆様の温かいご支援のお陰で、大きな問題もなく開園して九年目を迎えようとしています。まだまだ、社会的養護が必要な子どもたちが後を絶ちません。昨年は新たに、富津市に自立援助ホーム希望の杜を開所しました。六つ目の事業になります。微力ではございますが、そのような子どもたちをこれからも職員一同、皆で支えていきたいと思っています。

今年度も響魂祭を見合わせることにしました。新型コロナウイルスが下火になってきたとはいえ、まだまだ心配な状況にはあります。新たな変異株も確認されていますので、感染対策は今後もしっかりと行っていく予定です。

響魂祭は今年度もできませんが、私たちの「心からのありがとう」は届けたいなと思っています。昨年同様、子どもたちの手作りの絵馬と、「心からのありがとう」のメッセージをお届けし、私たちの感謝の気持ちとさせていただきます。

また、川戸中学校の体育祭で行っていたソーラン節をヒントに、オリジナルの響ソーランを作り、子どもたち、職員全員で感謝の気持ちを込めて踊ることにしました。春に「響ソーラン」を含めた「二〇二二 響の子どもたちの今」の上映会を開けたらと思っています。

今回もこんな形になりましたが、今年の秋には、皆様を招いて響魂祭ができたらと思っています。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

今後とも末永く宜しくお願いします。

千葉みらい響の杜学園 園長 渡部靖久



広報誌について

皆様には以前お便りにてお知らせしました通り、昨年来の新型コロナウイルス禍により、今年度も例年一月に実施していました「響魂祭」をやむを得ず中止と致しました。

私たちにとって響魂祭は、日頃より響の杜学園を支えて下さっている皆様に感謝を伝える大切な機会であり、子どもたちと職員が一丸となって皆様と心を寄せあえる貴重な行事です。

今年も学園への招待は難しいけれど、子ども達と職員は日頃お世話になっている皆様に「心からのありがとうを届けたい」という思いがあり、中学生から「響みんなでソーラン節を踊りたい」という声が上がりました。それから、ソーラン節の振りや動きを、子どもと職員で細かい部分まで確認しながら練習を積み重ねてきました。川戸中学校のソーラン節に感銘を受けた職員が沢山いましたので、子ども達に負けていけないと意気込みました。もちろん、幼児さんも踊ります。法被を着て全力で踊った動画を撮影していますので、機会があればぜひ皆様に見ていただきたいと思っています。

ソーラン節だけでなく、今年度も響魂祭特別号の創刊と手づくりプレゼントの作成に取り組み、皆様の元へお届けさせてもらうことになりました。



手づくり品や広報誌は子ども達と職員で一生懸命心を込めて作りましたので、私たちの感謝の気持ちを受け取っていただけたら嬉しいです。

【編集後記】

新年あけましておめでとうござい
ます。寒の入りとともに寒さが一段と
増していく時期となりました。皆さま
には、ご清勝にてよき新年をお迎えの
こととお喜び申し上げます。

響っ子は寒さに負けずに元気いっ
ぱいの冬休みを過ごしました。クリス
マスはプレゼントやクリスマススマニ
ューに大喜びし、年末はテレビを観て
年越しをしました。お正月はおせち料
理やお餅を食べて過ごしました。子ど
も達のキラキラ輝く笑顔を見ると、こ
の穏やかな日常を当たり前と思わず、
感謝して過ごしていかなければと感
じています。

Withコロナの生活にも慣れて
きて、少しずつではありますが以前の
日常を取り戻してきました。そして

二〇二二年、新たな年を迎えました。昨
年以上に子ども達のとびきりの笑顔を
アルバムに残せるよう、子どもと一緒に
笑い合い、時には困難を乗り越えて共に
成長していけるよう職員も気持ちを新
たに頑張っていきたいと思えます。

広報誌ですが、職員の手作りにて作成
しております。至らない箇所がありまし
たら、申し訳ございません。今後ともよ
ろしくお願い致します。

千葉みらい響の杜学園 職員一同

